

平成 28 年度 日本公衆衛生看護学会 保健師実践力向上セミナー



平成 28 年度・日本公衆衛生学会 保健師実践力向上セミナーを、2016 年 8 月 20 日（土）に品川インターシティ会議室にて開催しました。

本年度のテーマは「保健師活動の成果のみせ方～評価の力をつける!～」です。保健師活動の P D C A サイクルを展開する中で、その必要性は強く感じつつも苦手意識が高いと言われる「C」、すなわち「評価」を実施する力量の向上を目的としまし

た。

午前中は浜松医科大学の尾島俊之先生のご講演でした。「評価のコツは、シンプルに、少ない分量で」、「統計とは情報を捨てることである」といった印象的なフレーズを交えながら、質的な分析の重要性も含めて大変わかりやすくお話しいただきました。

午後は行政機関、産業保健分野、そして現任教育機関に所属する 3 人の方から実践報告をしていただいたあと、グループワークと意見交換を行いました。実践報告はどのように活動の評価を行っているかを知るとともに、他分野の活動を相互に理解する機会にもなったようでした。終了後のアンケートからは、参加者の多くが「できることから取り組んでみよう」という気持ちになっていただけたことが感じられました。

なお、本年度は締め切り前に定員に達したことで、ご参加をお断りさせていただいた方がおられたこととお詫び申し上げます。次年度も、皆様のニーズにあった研修を企画していきたいと考えています。とりあげて欲しい企画の提案もお待ちしております。



(研修委員会委員 鳩野洋子・浅井澄代・谷戸典子・富山紀代美・森永裕美子)